



学校だより

市川市立稲荷木小学校

# 梨の花



HP QR コード



令和6年11月29日 第8号

「やさしく・かしこく・たくましく」  
～子供が夢を持ち、仲間と共に未来を切り拓く力を育む学校～



## 「上手な時間の使い方」

まもなく師走。師走とは、誰もが年の瀬をひかえて何かと慌ただしくなる時期で、どっしり構えて読経する師僧までも走り回らなければと思わせるほど多忙な月であるとされています。時間に関わる四字熟語には、「一寸光陰」ほんのわずかな時間も無駄にしてはいけないという戒めの言葉であったり、「一刻千金」わずかな時間が千金に値するほど大変貴重であるということを教示したりする言葉など、時間は大切に使わなければいけないということを意味する言葉はたくさんあります。

さて、日頃ご家庭に帰ってからの子供たちの「時間の使い方」はいかがでしょうか？習い事や友達との遊びなどに子供たちは忙しく過ごしていることと思います。忙しい合間をぬって「テレビをつけばなしにしながら本を読んでいる」とか、「お菓子を食べながら宿題をしている」ということがもしかしたらあるかもしれません。忙しいとはいうものの、「～しながら」というやり方は、決して「上手な時間の使い方」ではないことは言うまでもありません。だらだら時間を使ってしまえばかりか、何かをしてがんばったとか、できるようになったという満足感も十分には得られないはず。もちろん時として気分転換などのんびり過ごす時間も必要です。しかしながら大切なのは、メリハリであったり、けじめであったりではないかと思えます。そのためには、物事に対して見通しをもって取り組むことが重要です。

学校生活でも同じです。子供たちは毎日忙しく過ごしていますが、例えば上手に時間を使っている子供は、委員会活動や実行委員会の活動などの自分に与えられた仕事に対して、隙間の時間などに集中して取り組むことができ、その成果を上げることができます。そういう子供は、遊びや自由に過ごす時間も十分にとることができ、けじめをつけることもできているので学習効果も上がっています。逆にすぐに取りかかることが苦手だったり、めあてがなくだらだらと取り組んだりしている子供は、遊びの時間も十分にとることができず、不満げに「忙しい、忙しい」と言っているような気がします。どちらが「上手な時間の使い方」でしょうか？

私も今年度4月に着任して8か月が過ぎました。これからも今までの積み重ねを生かし、上手に時間を使って、さらに伸びゆく稲荷木小の子供たちのために尽力していきたいと思えます。これまでの学校づくりに対するご理解とご協力に、教職員一同、心からお礼を申し上げますとともに、皆様がよい年を迎えられますことをお祈りいたします。

学校は今後も開かれた学校を目指し、子供たちの様子や情報発信をしてまいります。日々の学校の様子については、学校のホームページブログにて掲載しておりますので、そちらでご確認ください。上記のHP QR コードをご活用ください。



## 【歌声響きわたる♪市内音楽会♪ 6年生】

11月14日（木）第78回児童生徒音楽会の午前の部に、稲荷木小学校の代表として、6年生が合唱を披露しました。曲目は「あなたに会えて・・・」「飛行船」の2曲です。歌詞の想いをのせてとても澄んだ美しい歌声が、会場に響いていました。審査員からの講評を紹介します。



- 姿勢よく指揮者を見つめる姿がかっこよい。
- 曲調を表現したしっとりとした歌い方にも好感がもてる。
- 無伴奏から入る最初の部分がとても美しく柔らかいハーモニーに包まれました。
- 一つ一つの言葉に力を感じた。歌声がのびやかで高揚感も見事に表現されていた。

## めざす児童像 自分の考えをもち、進んで学ぶ子

【総合的な学習 キャリア教育 6年生】特色ある教育 地域人材活用 探究的な学びの工夫

6年生は総合的な学習の時間に「働くってどんなこと？」をテーマにキャリア教育を進めています。様々な職種の保護者の方々に来校していただき、「仕事の種類」「仕事の苦労・やりがい」等についてわかりやすく説明していただきました。ご協力ありがとうございました。

子供たちは講話を受けて、自分が興味のある職業調べを始めました。この活動が、自らの力で生き方を選択していくことができる必要な能力や態度を身に付ける礎となることでしょう。



【国語科の学習 2年生】個に応じた指導の充実（多様な教育的ニーズ） 指導と評価の一体化

「おもしろいもの、見つけたよ」の単元で、様子をよく見て、詳しく書く学習です。子供たちはタブレット内のオクリンクプラス機能を活用し、身近なものを題材に選んで写真を撮り、伝えたい順位に写真を並び替えました。その順に作文メモをマイボードで作成して、提出BOXへ送信することで担任が確認と評価ができます。実態に応じてはみんなのボードを活用し、クラス全体で共有もできます。タブレット内の作文メモを見ながら、子供たちは黙々と原稿用紙に作文を書いています。

カードをつなげて思考を順序だてる活動や少しつまずくと、写真に戻って確認しながら一人で取り組んでいる姿など、ICT機器の活用で個人の思考を深め、まとめる力も身につけています。

